

生物

公募制推薦

公募制推薦における生物は、高等学校「生物基礎」(全範囲)および「生物」(生物の進化および生態と環境以外の範囲)の基本事項について、教科書に基づく正確な理解が身についているかを評価する。重要語句や基本原理を単に暗記するのではなく、生命現象の仕組みや因果関係を説明できるかを重視する。また、基礎的な計算問題やグラフ・資料の読み取りを通して、科学的に考え、学習内容を整理する力を測る。高校での学習を着実に積み重ねてきた姿勢と、大学での専門的学修に円滑につながる基礎学力の有無を判定することを目的とする。

一般選抜

一般選抜の生物では、「生物基礎」(全範囲)と「生物」(生態と環境以外の範囲)を対象とし、分野横断的な理解力と応用力を評価する。文章、図、表、グラフなどから必要な情報を的確に読み取り、関連する知識を結び付けて論理的に考察できるかを重視する点に特徴がある。計算問題では複雑な数学的処理よりも、条件整理と正確な立式を求め、生命現象を数量的に捉える力を測る。基礎知識の確実さに加え、それを活用して課題を解決する能力を通して、大学の専門科目を理解するために必要な学力を判定する。